

2 「総合的な学習の時間」で活用するマナーガイド



電話のかけ方

こんなとき、電話を利用してみよう

- 本で調べても内容が理解できないとき。
- 場所や日にちを確かめたいとき。
- 自分が知りたいことをよく知っている人（専門家）に詳しく聞きたいとき。
- すぐに答えを出したいとき。

電話の利用を考えたら、次のような準備をしよう

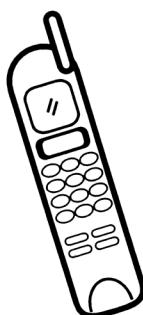
- 尋ねたい内容を書き出す。
- 電話番号を正確に調べる。
- 先生に電話使用の許可を得る。（公衆電話や携帯電話の利用でも許可をもらう）

電話をかけるとき、次のことに気を付けよう

- 自分の都合だけ考えず、「教えていただく」という気持ちで相手のことを考える。
- 午前9時頃（仕事場に来たばかり）、昼食時、午後5時頃（仕事の整理をしているとき）は、電話をかけない。
- まずは、自分から名前をきちんと言う。
- かけても「忙しいので後ほど」と言われたときは、後でかけなおす。
- 用件は、手短に述べる。
- お礼を忘れずに述べる。
- 相手が電話を切ってから切る。

実際に、次のように電話をかけよう

- メモを用意して、番号を押す。



- 〇〇学校の〇〇と申します。〇〇さんをお願いいたします。
(相手がいる)
- 〇〇学校の〇〇と申しますが、〇〇について、お聞きしたいことがあります。電話をしましたが、ただ今よろしいでしょうか。
- （「いいですよ」と言わされたら「実は…」と用件に入る。）
- お忙しい中、教えていただき、どうありがとうございました。それでは、失礼いたします。